

令和6年度全市一斉防災訓練の参加結果及び感想等（まとめ）

●各公民館別（参加団体及び参加者数最終集計）

東児	2 団体	115 名	上山坂自主防災会、梶岡連合自治会自主防災会
山田	4 団体	183 名	原地区自治会自主防災会、上山田自主防災会、品之作自主防災会、沼地区自主防災会
八浜	4 団体	150 名	硯井ヶ丘町内自主防災会、東七区自主防災会、広木地区自主防災会、南広木自主防災会
荘内	7 団体	1,054 名	東高崎自治会防災本部、用吉区自主防災会、豊岡地区自主防災会、川田自治会自主防災会、広岡区自主防災会、永井地区自主防災会、滝区会自主防災会
田井	4 団体	236 名	田井地区コミュニティ協議会、野々浜町内自主防災会、三軒屋中町内自主防災会、岡殿団地自主防災会
中央	2 団体	20 名	東小浦町内自主防災会、岡山赤十字老人保健施設玉野マリンホーム
玉	3 団体	7 名	玉海岸地区町内自主防災会、里第3町内会、里第4町内会
玉原	1 団体	5 名	レイク玉原町内会
和田	1 団体	592 名	和田・御崎地区自主防災組織連合会
日比	3 団体	489 名	御崎シーサイド連合自治会自主防災会、向日比1丁目・深井団地自主防災会、渋川連合自治会
<b>参加団体及び参加者</b>		<b>合計 31 団体 2,851 名</b>	

※協力団体～NPO 法人Vネットおかやま

○避難に要した時間（自宅から一次避難所等まで）平均 約 19 分

（回答のあった 23 団体の平均所要時間）

● 訓練内容

東児	防災資機材の点検、土のう作り訓練、一次避難所まで徒歩避難
山田	一次避難所までの徒歩訓練、AED取扱い訓練
八浜	指定緊急避難場所や一次避難所まで徒歩避難、ダンボールベッド体験、高齢者体験キッドの着用、避難所用テントの組立て訓練等、消火器の取扱訓練
荘内	防災資機材の点検、非常食の試食、一次避難所まで徒歩避難、備蓄品の確認（備蓄倉庫の見学）、家族安否確認のための黄色いハンカチ作戦、AEDの取扱訓練、防火講座の開催
田井	一次避難所まで徒歩で避難、非常食の試食、要配慮者の支援訓練

中央	一次避難所まで徒歩避難、福祉避難所の開設訓練
玉	指定緊急避難所まで徒歩で避難、防潮堤の開閉の確認
玉原	一次避難所まで徒歩訓練
和田	2地区で決めている避難所（体育館）まで徒歩避難、避難所運営訓練、日比中3年生による防災学習発表
日比	一次避難場所までの徒歩訓練、防災資機材の点検、家族安否確認のためのハンカチ作戦、シェイクアウト訓練、防災資機材の点検

● 訓練の感想・意見等

東兎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・年々参加者の防災意識が向上した様に思われ、避難訓練といっしょに実施した土のう作りも皆さん熱心に取り組んでいた。</li> <li>○・訓練前日と当日に防災訓練の町内放送し、町内の掲示板及び回覧板でも告知した結果、参加者が20名ほど増えるなど、一定の効果があった。</li> </ul>
山田	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（感想） <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区全員の参加ではなかったが、まずまずの参加者だった。</li> <li>・子ども、若い人の参加がなかった。</li> <li>・玉野市消防署東分署で、救急車搬送時や病院に着くまでの状況や署内の設備の説明、心臓マッサージ、AEDの取り扱い訓練を実施したが、とても勉強になった。</li> </ul> </li> <li>（課題・問題点） <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回全市一斉訓練に参加したが、想定はあったものの、具体的な訓練内容は各団体に任されたので、何をしたら良いのかわからないまま、実施した。</li> <li>・次回からの訓練では、どのようにしたら子ども、若い人にも参加してもらえるのか考えたい。</li> <li>・山田地区は災害が少ない地域なので、訓練の重要性をあまり感じられないので、身に迫る訓練をしたいが、良い方法がわからない。</li> </ul> </li> <li>○・家族連れで参加したところもあれば、避難場所のすぐ近くに住んでいても不参加のところもある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機感や避難に対する意識が低いのだろうか。</li> <li>・声かけをしたが、85歳以上の高齢者の参加がほとんどなかった。</li> <li>※車椅子を数台地区に常備しておく必要がある。</li> <li>※避難訓練だけでなく、防災に関する講話や防災グッズの使い方紹介等のイベントを開催するほうが参加者が増えるかもしれない。</li> </ul> </li> </ul>
八浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・昨年より参加者が減った。住民の防災に対する危機感が薄いのでは。</li> <li>・町内集会等を開き、防災に対して個々の意識を高めたい。</li> <li>・訓練開始の防災行政無線のサイレンを聞き、すぐに集合場所に来る人がいるので、集合場所に役員を配置したら良いと思った。</li> <li>○・避難経路や所要時間の確認ができて良かった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練を繰り返し行うことによって、非常時に落ち着いて行動することができると思われる。</li> <li>・比較的若い世代が訓練に参加していたが、高齢者の避難をどうするのかなど危機感を持った。</li> <li>○・昨今の社会情勢等を鑑み、今回初めて参加した。当自主防災会は、全部で102世帯だが、これから訓練参加者は増えると思う。今回の訓練は地震・津波の想定だったので、地域の小学校へ避難した。</li> <li>・隣地区の自主防災会が素晴らしい内容の防災イベントを開催しており、とても参考になった。</li> </ul>
<p><b>荘内</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・住民の避難状況は概ね良好であったが、要介護者、支援者への対応が心配である。</li> <li>○・参加者が他の行事などと重なり、昨年より少なかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の後、防災士の方の講演を聞かせてもらったが、ためになる話ばかりで、とても良かった。</li> </ul> </li> <li>○・毎年、この訓練に参加しているが、回を増すごとに住民の防災意識が上がってきている。今回は資機材の使用訓練をしたが、今後とも、機会あるごとに訓練に参加したい。</li> <li>○・河川の水位上昇により、各自宅において、垂直避難の訓練を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班からの避難完了の電話確認が遅く感じた。</li> <li>・AEDの取扱訓練、防火講座ともに参加者は真剣に取り組んだ。</li> </ul> </li> <li>○・10月の回覧板で訓練日時を告示した。(連絡網の確認+黄色いハンカチ作戦+避難) <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡網に時間がかかった。固定電話に応答がない。</li> <li>・連絡先が更新されておらず、携帯の登録がないなど機能していない。</li> <li>・連絡網が回ってから避難するということの周知が十分ではなかった。</li> <li>・日時を優先して連絡網が回る前に避難してきた人が多かった。</li> <li>・避難先に集合したが、点呼する役員が連絡網の最後を受けることにもなっていたので、人手が足りなかった。</li> <li>・支援の必要な方の名簿はあるが、公開の範囲など、活用方法に課題がある。</li> <li>・両隣などで声を掛け合い、ある程度まとまって避難してはどうか。(提案事項)</li> </ul> </li> <li>○・当日は雨を心配したが、9時から開始し、避難に要した時間は各自、車や徒歩などの手段で、5分から15分かかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・AEDを使用して救命の仕方を学んだ有意義な時間であった。</li> <li>・防災資機材の点検を行い、非常食(アルファ米)を参加者へ配布。</li> <li>・今後、色々な場面を想定し、訓練をしたい。</li> </ul> </li> </ul>

<p><b>田井</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・初めての試みであったが、多くの方が参加して良かった。</li> <li>・防災意識の高い方は、防災グッズや防災頭巾を着用、ハザードマップを持参された方など、他の方へのいい刺激となった。</li> <li>・ご近所さんに声がけをしながら、避難してきてくれた住民もいた。</li> <li>・防災行政無線が聞こえなかったという声が多くあった。</li> <li>・地震災害（津波）の放送の際には、「第一次避難所へ避難してください。」と防災行政無線で一声言ってもらえればよいのではという声が多くあった。</li> <li>○・事前に回覧など告知をしていたので。多数の参加者があった。</li> <li>・自宅での「シェイクアウト訓練」を行った。</li> <li>・毎回参加者が決まっているので、今後いかに参加者を増やしていくかが課題である。</li> <li>○・今回、田井市民センターへの避難訓練を実施したが、震災の際、当団地の標高は想定される津波の高さを超えている中で、低い場所への避難は避けるべきではないか。想定避難場所として、団地内の公園や近隣の公園を想定したほうが良いのではないかと意見がでた。</li> <li>○・訓練開始の防災行政無線のサイレンの音が小さく聞こえにくい。（防災行政無線の設置位置が悪いのではないか。）</li> <li>・歩行困難な人の避難方法を考える。（課題）</li> <li>・市から避難情報が発令されたら、緊急連絡網を使用する。</li> <li>・来年は事前に参加人数を把握する。</li> <li>・日頃から防災グッズを持ち歩く。</li> </ul>
<p><b>中央</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・町内の参加人数が少なく、災害に対する危機感が薄いと感じた。</li> </ul>
<p><b>玉原</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・災害発生時、町内の集会所での炊き出しはできるのか？</li> <li>・町内での高齢者の把握はできているか？</li> <li>・避難場所は住民全員に周知されているか？</li> <li>・要配慮者の支援方法は？</li> <li>・自宅から避難場所までの経路で危険箇所は？</li> <li>・初めての町内会での防災訓練だったと思うが、地域で大きな災害が発生していないので、防災に対し、あまり気にしていない人が多い。今回参加者は少なかったが、訓練終了後に色々な課題が話しあえて良かった。</li> <li>日頃から近隣の人とのコミュニケーションが大事だと再確認した。</li> </ul>
<p><b>和田</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・2会場とも、日比中学校の生徒の発表を熱心に聞き、質問が出るなど、好評であった。</li> <li>・どの町内会も高齢化のため、ミネルバ、日比小まで来た人は参加者の3割程度だったが、黄色いハンカチ作戦の実施率は高かった。</li> <li>・受付がやや混雑したが、予定していた時間内には何とか収まった。</li> <li>・避難行動要支援者については、町内ごとで確認してほしいと再度依頼した。</li> <li>・当日、KCT、山陽新聞の取材があった。</li> </ul>

日比	<p>○・午前9時の時報で、自宅での1分間のシェイクアウト訓練を全世帯に呼びかけ、9時10分までに自治会・会員総参加の「タオルかけ、安否確認訓練を行うよう呼びかけた。「我が家は無事を知らせるタオルかけ」を実施した結果、289軒、68.5パーセントの自治会員がタオルを玄関や郵便ポスト、門扉にかけて訓練に参加した。模擬の避難訓練として事前に午前10時までに御崎公園に参加を呼びかけ、151名が集まり、保存水及び保存食を参加者に配布した。</p> <p>・「安否確認のタオルかけ訓練」に思った以上に自治会員の参加が多く、防災意識が高まっていると感じた。来年度もこの「安否確認のタオルかけ訓練」を実施する必要があると思った。</p>
----	---